

平成 29 年(2017 年)度 3 月 理事会議事録

I. 日時：平成 30 年 3 月 8 日（木）19:00～21:30

II. 場所：神奈川県作業療法士会事務所

III. 理事会定数：

出席理事：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・奥原・神保・玖島・遠藤・作田
村越・澤口・大郷 計 17 名

欠席理事：野本・名古屋・佐藤

出席監事：田中・糊澤

その他：明立・横山（共に事務局 書記）

IV. 議長団選出

議長：錠内会長

副議長：玖島理事

議事録署名人：田中監事

V. 配布資料

1. 式次第

2. 資料 1 各部・委員会報告

事務局／財務部／学術部／教育部／広報部／福利部／地域リハビリテーション部
制度対策部／ウェブサイト管理委員会／学会評議委員会／認知症対策委員会
地域包括ケアシステム推進委員会

3. 資料 2 財務資料①：財務状況シミュレーション

財務資料②：2017 執行&2018 予算

財務状況③：2017 年研修会収入

4. 資料 3 別紙資料：①福利部②ウェブサイト管理委員会③渉外①②

5. 資料 4 総会議案書：2018 年度計画

VI. 回覧資料

1. 第 14 回かながわりハビリテーション・ケアフォーラム当日配布資料

2. 平成 29 年神奈川県療養病床実態調査報告書

VII. 審議内容

1. 次年度予算検討について

2. 各部・委員会の審議事項・報告事項について

(1) 重点課題

1) 三役 a 予算提案

2) 事務局 a 次年度三役会、理事会の日程について

3) 福利 a 神奈川県作業療法士会功労表象者について

(2) 審議事項

1) 認知症 a 部員の承認

3. その他

VIII. 審議事項

1. 次年度予算検討について

(1) 財務シミュレーションの理由

三役より前回会議を踏まえて再度説明する理由を述べた。

年間の会費収入をもとに計画、研修会費用は新規事業や補正予算に使用したい。協会事業などの突発的な事業もある（会長）

今までの予算検討は各部の希望金額が収入を上回る場合は一律減算だった。そのため新規事業が組めなかった。今後は予算配分も中長期計画にのっとった優先順位をつけて検討したい。（木村）

会費が銀行引き落としになったため、年度初めにまとまった収入が入るようになった。その前は会員でも会費を振り込まないとお金が入らなかったのが研修費や各部・委員会からの返金をあてにしないとならなかった。収入が安定したので予算検討のやり方を変更する時期と考えている。（野々垣）

(2) 財務説明

財務状況シミュレーションを見ながら以下の説明を財務理事より行った。

1) 他団体会費について

三団体協議会 正会員×100 円、医療職連合会 正会員×120 円+5 万（定額）で計算されている。今後、会員増加で増えていく。

2) 積立について

周年行事は根拠が不明確のため積立から削除した。

3) 入会会員数

会員は毎年 200 名程度入会するが 50 名程度転出しており、130~160 名程度で算定した。

4) 繰越金がマイナスになることについて

各部・委員会、学会の戻り金で今まで赤字になっていなかったがシミュレーション上は考慮していないため。必ずマイナスになるわけではない。

5) 研修会収入について

研修会場の収容力に限界があるため研修会は頭打ちではないか。参加費の検討、年度初めに研修会を確認し、かぶらないようにする必要もあるか。

(3) 質疑応答

・マイナスになることのリスクはどう考えているのか。（澤口）

→各部・委員会だけではなく全体として検討する必要がある。ちなみに学会は 100 万円近くの返金あり。学会に関してはどのくらいの人数を見込んでいるのかなどを理事会では把握できておらず、学会運営に任されていた。（吉本）

・公益事業を運営するにあたり県民に無料で行うとなるとどこから捻出するか。（澤口）

→助成金の利用も検討する必要があるかもしれない。（吉本）

- ・今までは各部・委員会からの返金が多かった。これは執行率が低い部・委員会があることである。現在は修正されてきているが予算の立て方が甘いところもあったのではないか。(木村)
- ・今回の会議は何についての検討しているのか。(大郷)
→財務状況のシェア、今後の事業に反映してほしい。(会長)
- ・前回理事会で大まかな予算案は承認されたが、各部・委員会に積立をあわせた全予算案として承認できるか検討してほしい。(吉本)
- ・以前担当した学会では1年20万円の2年分、計40万円を運営資金として県士会から受け取った。だが、当日の運営資金(講師謝金など)の不足のため、返済を前提に60万円を支援してもらい、会費代が入ったあとに返金した。県士会から渡される資金はあくまでも会費が入るまでの運営資金であり、余剰分は返金することなど、資金面について実行委員会発足時に説明する必要があるのではないか。(作田)
- ・方向性を学会評議委員が把握し、伝えてほしい。会費を払っているのである程度の質は担保できるものが求められるか。何人規模の研修を何回やるのか、会場定員数分の参加者を促すことも求められる。(田中)

(4) 次年度予算について

1) 2017年執行状況と2018年予算案

概ね予算は前回理事会で承認されているが、資料を再確認する。また執行状況と最終予算を3月20日までに財務に連絡する。

2) 研修会収入

3月に行われている研修会が終了後、財務へ連絡する。

(5) 期末監査について

3月会計ファイルは4月5日(木)締切。合計金額0円や合計が左右で異なる、記載がないまま送られてくることもあるので確認してほしい。

提出書類は4月9日(月)必着。送り方は中間監査と変わらない。間違い、不足、通帳の返却を確認してほしい。

期末監査は4月14日(土)14:30~事務局で行われる。その後総会資料として取りまとめる。

(6) 予算の配分について

今年度は予算配分の方法検討についてまで検討が至らなかった。2019年以降の予算計画では予算配分まで検討していきたい。(木村)

⇒承認

2. 事務局

(1) 次年度理事会日程について⇒承認

理事会第3木曜日、三役会は理事会2週間前とし、以下のように予定している。

開催月	三役会	理事会	内容
4月	4日	19日	5月27日開催総会について
6月	6日	21日	
8月	8日	23日	次年度事業計画検討開始
10月	3日	18日	
12月	5日	20日	
1月	9日	24日	
2月	1月30日	14日	総会議案書完成
3月	6日	22日(臨時)	

(2) 委員の推薦

1) 横浜市障がい認定審査会委員について

任期1年を残し現委員が職場変更のため後任の委員を推薦したい。

名古屋和茂氏(横浜YMCA学院専門学校) ⇒承認

(3) 強制退会からの再入会について

蜂谷知宏(はちやともひろ)氏(みどり野リハビリテーション病院)

入金・引き落とし手続き完了。 ⇒承認

3. 福利部

(1) 神奈川県士会功労表彰及び特別功労表彰者の推薦について

10名の会員を表彰者として推薦する。特別功労表彰は4名。功労表彰者は6名。

・対象者と今も連絡がとれるのか確認した方がよい。(吉本)

→事務局に確認しているが、再度確認してみる。(玖島)

4. 認知症対策委員会

(1) 委員承認

4月11日からの委員会会議出席のため。

足立雄介氏(間中病院)

山口拓也氏(鶴巻温泉病院) ⇒2人とも承認

X. 報告事項1. 事務局

(1) 神奈川県

1) 理学療法士・作業療法士学校養成施設カリキュラム等改善検討会報告書

ウェブサイトへの掲載予定。

(2) その他の関係団体

1) 養成校卒業式、入学式

いずれも祝電で対応する。

- ①国際医療福祉大学 卒業式 H30.3.9 入学式 H30.4.7
- ②横浜リハビリテーション専門学校 卒業式 H30.3.9
- ③茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 卒業式 H30.3.9

(3) その他

- 1) 強制退会者 10名。今年度中に連絡、手続きがなければ強制退会。
- 2) 第3回臨床大会 協賛(学会評議委員会協働事案)
OG 技研・フロンティア・ハナリハデザイン・愛甲製作所・木村技士工作研究所
- 3) 学会評議委員会への参加
H29.11.13/H29.12.4/H30.3.6 全3回

2. 財務部

(1) 予算の展望ならびに財務方針に関する検討

2月20日に三役と検討。今後の予算編成、今後の展望などを検討した。

3. 学術部

(1) 神奈川助成金制度について

予定通り湘南慶育病院の丸山先生に支給された。来年度から助成金制度の要件が一部変更となるため、規約の修正作業を行い、今後会員に向けて周知していく。

4. 教育部

(1) 理学療法・作業療法士学校養成施設カリキュラム等の改定について

検討されているが県からも周知依頼が届いている。

・47委員会では県士会に依頼したい様子だった。(野々垣)→今後の検討か。

(2) 研修会報告

1) 現職者選択研修(発達領域)

2018年2月11日(日) 会場:横浜リハビリテーション専門学校

講師:鴨下賢一氏(静岡県立こども病院)、高橋香代子氏(北里大学)

参加者数:33名(参加費収入122,000円)

(3) 今後開催研修会予定(残り1件)

1) 現職者共通研修(事例報告・事例検討;事例報告会として開催)

2018年3月11日(日) 会場:ウィリング横浜

申込者数:113名(3月2日現在)

5. 広報部

(1) ニュース発行

予算内で通常通り発行中。

(2) 対外広報 活動報告

1) 『第 14 回かながわりハビリテーション・ケアフォーラム』 ブース出展

2018 年 2 月 3 日 (土) 横浜市

例年参加している神奈川総合リハビリテーション事業団主催のイベント。今回は「災害とリハビリテーション」というテーマ。

一般県民対象：パンフレット配布・災害時の支援や工夫についての相談・アンケート聴取

*今回は制度対策部災害対策事業班と協力しブース運営を行った。

2) 『第 5 回リハビリフェスタ』視察

2018 年 3 月 4 日 (日) 小田原市 会場：小田原アリーナ

神奈川県県西地区リハビリテーション連絡協議会主催のイベント。10 講演と健康ブース・活動紹介ブース展示。体験型ブース（作業体験・認知機能検査体験等）を検討していく。

上記連絡協議会より来年度のブース出展の打診いただく。対外広報にて県西地区の広報活動も拡大していく。

(3) その他

1) 県士会活動部署へパンフレット提供

①認知症対策委員会 2018 年 3 月 10 日 (土) 藤沢市役所にて講演・相談ブース出展。

②神奈川県臨床作業療法大会 関連企業・団体への郵送物同封として使用。

(4) 活動予定

今年度中：相模原地区 さくらまつり準備。広報支援グッズ（自助具）作成。

6. 福利部

(1) 求人・求職の登録および情報提供 2018 年 1 月 17 日～2018 年 2 月 17 日

1) 新規掲載依頼：のべ 22 件(うち有料 3 件)

2) 変更依頼：のべ 1 件

3) 削除依頼：のべ 3 件

4) 問い合わせ対応：のべ 0 件

(2) 職場見学会・体験会

第二回の職場見学会・体験会の開催は先方との都合が合わず断念。

(3) JAOT 特別表彰受賞者推薦について

推薦書を提出済み。現在、結果待ち。

(4) 新入会オリエンテーションについて

2018 年 6 月 17 日 (日) 会場：横浜リハビリテーション専門学校

参加理事の交通費は福利部からの出金になる。

7. 地域リハビリテーション部

(1) 研修会について

1) 研修会報告

①地域包括ケアシステム三団体合同研修会

2018年2月25日(日) 会場：ワールドポーターズ

②難病リハビリテーション講習会 2017

2018年3月11日(日) 会場：ウィリング横浜

(2) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

1) 三団体協議会の委員改選について

平成30年度に三団体協議会の委員改選がある。各士会から委員を推薦する(OT士会3名)。現行と同様に木村副会長、遠藤理事、佐藤準部員を推薦予定。

局員の委任：各局の局員名簿を更新予定。

2) 地域リハビリテーション連絡会活動助成金

(3) その他

1) 神奈川県建築士会研修会「賃貸住宅に暮らす脳卒中患者の退院時住宅環境整備」

2018年2月24日(土) 会場：スカーフ会館2階

遠藤理事が1テーマ講師を行う。

2) 神奈川県主催「リハビリテーション専門職等介護予防指導者研修会」

2018年3月2日(金)、3月9日(金) *同一内容

会場：横浜会場：日本丸メモリアルパーク訓練センター 第1・2研修会

平塚会場：平塚商工会議所

遠藤理事が1テーマ講師を行う。

8. 制度対策部

(1) 災害対策事業班

1) 会員被災状況確認システムのデモ運用の実施

2月のOT協会主催の「災害発生を想定した訓練の実施」に合わせて、デモ運用を行う。2月10日まで実施。337件の応答があった。居住地区選択のプルダウンでモレがあった。

(2) 社会制度対策班

WEBにて情報発信。2月中4回発信した。協会主催の診療報酬改正研修会に出席予定。

その後WEBにて情報発信していく。

9. 学会評議委員会

(1) 第3回神奈川県臨床作業療法大会

2018年7月29日(土) 会場：はまぎんホールヴィアマーレ

1) 一般公開シンポジウム ～気になる子どもたちへの支援の工夫～

10：00～12：30 開催 定員：500名 参加無料

シンポジスト：伊藤紀幸氏（障害者雇用企業経営者）

高橋あつ子氏（早稲田大学教職大学院教授）

高木一江氏（横浜市中部地域療育センター所長・医師）

酒井康年氏（うめだ・あけぼの学園 作業療法士）

神奈川県 LD 等発達障害児・者親の会「にじの会」保護者

2) 口述発表 演題採択中。午後。

査読メンバー：坂本俊夫氏（横浜 YMCA 学院）

木村亮太氏（磯子中央病院）

上羽 航氏（新戸塚病院）

長谷川 拓氏（横浜市立脳卒中・神経脊損センター）

杉山いずみ氏（小さき花の園）

奥原孝幸氏（神奈川県立保健福祉大学）

3) ブース出展について

5 ブース（県士会、書籍販売、シンポジスト企業お菓子販売、機器展示 2～3 社）

(2) 第 6 回神奈川県臨床作業療法大会実行委員会

2018 年 3 月 17 日（土）横浜 YMCA 専門学校にて予定。

検討課題：大会誌について、演題採択、午後のプログラムの検討

(3) 第 17 回神奈川県作業療法学会

会場検討中。

(4) 協賛企業について

学会財政資金確保のため、協賛企業の継続的確保について活動中。

10. 認知症対策委員会

(1) 若年性認知症の人と家族の会つどい参加

2018 年 3 月 4 日（日）委員 4 名で参加。生活上の助言について喜ばれる印象。

今後家族の会と具体的な関与について相談予定

(2) 藤沢市保健予防課・障がい福祉課&藤沢病院主催の相談会にブース出展

2018 年 3 月 10 日（土）14:00-16:00 委員 5 名で参加。

11. 地域包括ケアシステム推進委員会

(1) 来年度の横浜市地域リハビリテーション活動支援事業について

横浜市での保健師向け研修会にて作業療法士の活用方法をプレゼンした結果、派遣回数が増加となった。

平成 29 年度（54 回） ⇒ 平成 30 年度（63 回）

派遣回数が増加により、事業に参画できる会員の募集および育成を早急に進めていく必要がある。

(2) OT 協会の総合事業実践事例集の作成協力

横浜市地域リハビリテーション活動支援事業の取組が掲載させることとなった。

全国 8 事例のうちの一つであり、総合事業における神奈川県士会の取組は他士会を先行している。

1 2. 渉外活動

(1) 鎌倉市健康づくり・介護予防事業 吉本理事

2018 年 2 月 26 日 (月) 会場：鎌倉市街づくり胡桃ヶ谷集会場

内容：認知症と予防について、認知症の基礎知識・コグニサイズ・学習療法

(2) 第 1 回神奈川県介護人材確保対策推進会議 金山事務局長

2017 年 7 月 25 日 (火) 会場：神奈川県民センター

2025 年までに 2 万 5 千人不足するといわれている介護人材の確保に取り組む体制構築に関する会議。

<重点テーマ>①会議人材確保対策について②介護人材定着対策について

<今後の方針>①施策・事業の実態把握・見直し検討部会と②将来の担い手づくり検討部会にわかれて検討していく。

(3) 第 1 回将来の担い手づくり検討部会 金山事務局長

2017 年 9 月 6 日 (水) 会場：神奈川県民センター

<議題>①進行と工程表の確認 ②取り組み状況等の把握について

<内容>市町村、市町村社協、各団体等の現状把握 (福祉教育・キャリア教育等) を踏まえ、それぞれの委員がどうしたら介護人材を増やしていけるか意見を出し合った。

(4) 第 2 回将来の担い手づくり検討部会 金山事務局長

2017 年 11 月 17 日 (金) 会場：神奈川県民センター

<議題>①「仕事理解」につながる福祉・介護のやりがい等について

<内容>福祉教育→キャリア教育→福祉・介護の仕事へつながるように現状や課題、対策について検討した。

(5) 第 2 回神奈川県介護人材確保対策推進会議 金山事務局長

2018 年 3 月 1 日 (木) 会場：神奈川県社会福祉会館

<内容>今年度のまとめとして「介護人材確保対策推進会議のまとめと提案に沿って意見交換を行った。誰が主語で何をするのか明確になるよう文章を修正することを確認した。また、情報発信の方法について再確認した。

1 3. その他

(1) 監事より

予算をいつ行うのか、何にむかっているのかを明確に提示してほしい。

ブロック化会議も行われるがその方向性に関しても、平成 30 年度にはブロック化する方

向だったと思うが動いていない。→今度の会議では各部・委員会のブロック化を想定しているのかすりあわせを検討している（木村副会長）

総会で会長が答えるだけでなく、理事が全員同じ内容を答えるようにシェアしていく必要があるのではないか。

(2) レッツチャットについて

前回理事会で希望者を募った。希望を事務局から伝える。

XI. 次回理事会日時・場所 三役会 2018 年 4 月 4 日（水）19:00～
理事会 2018 年 4 月 19 日（木）19:00～
一般社団法人神奈川県作業療法士会事務局

以上（文責：金山）

議事録署名人議長：	錠内広之	印
理事：	玖島弘規	印
監事：	田中ゆかり	印